

アルミシェルター＋防災テント



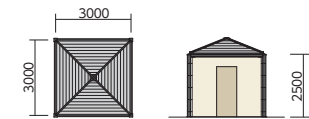
BYF-19D（本体） ¥2,930,000＋消費税
BYU-19D3（テント） ¥500,000＋消費税

通常タイプ



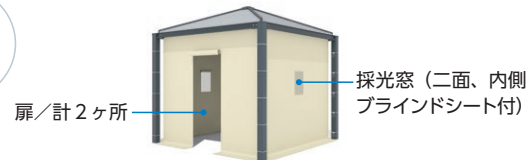
- W3000×D3000×H2500（桁高）
- BYF-19D：715kg（本体） BYU-19D3：27kg（テント）

屋根▶アルミ鋳造パネル／合成樹脂焼付塗装仕上
桁・柱▶鋼材／溶融亜鉛メッキ下地、合成樹脂塗装又はポリ粉体塗装仕上
テント地▶防災2級合格品（BYU-19D3）
積雪対応▶1.5m未満
※多雪区域については弊社営業担当にお問い合わせください。
※設計風圧力は基準風速34m/s、粗度区分Ⅲを基に算出しています。
※テント利用は緊急時と捉え、本体及び基礎はテントが張られていない状態での構造検討としています。
※強風時はテントの使用をおやめください。



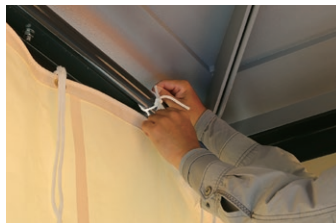
災害時に防災テントを設営できるアルミシェルターで、通常の設営タイプと簡易設営が可能なタイプの2製品を用意しています。

テント設営時



※通風用を兼ねて対面にも同じ扉が付きます。（扉はファスナーで開閉）

パイプフレームへの取り付け



テント膜はシェルター桁内側に設置しているパイプフレームにひもで取り付けていきます。屋根に登っての取り付け作業はなく、安全性に配慮しています。

高強度のテント生地を採用



耐水性・耐候性に優れた国土交通大臣認定膜材（防災2級合格品）を採用しています。同じような用途で一般的に使用される「ターポリン」と比べて引張強度に優れており、破損リスクの低減が期待できる仕様です。

テントの収納について

収納ベンチ（BBF-1200）1基につき、シェルター1棟分のテントを収納することができます。（▶p.42、156）



BBF-1200

Vプロセス工法のアルミ屋根



薄肉鋳物ができて寸法精度が高い「Vプロセス鋳造」によるアルミパネル屋根を使用しています。（▶p.63）

溶融亜鉛メッキ下地の鋼材



休養施設の鋼材に溶融亜鉛メッキを施して耐久性を格段に高め、製品の長寿命化につなげています。（▶p.63）

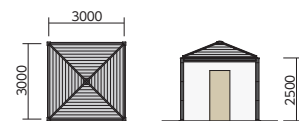
BYF-19F（本体） ¥3,000,000＋消費税
BYU-19F（テント） ¥500,000＋消費税

簡易設営タイプ



- W3000×D3000×H2500（桁高）
- BYF-19F：695kg（本体）
BYU-19F：18kg（テント）

屋根▶アルミ鋳造パネル／合成樹脂焼付塗装仕上
桁・柱▶鋼材／溶融亜鉛メッキ下地、合成樹脂塗装又はポリ粉体塗装仕上
テントバー▶アルミ押出型材／アルマイト処理
テント地▶ターポリン（BYU-19F）
積雪対応▶1.5m未満
※多雪区域については弊社営業担当にお問い合わせください。
※設計風圧力は基準風速34m/s、粗度区分Ⅲを基に算出しています。
※テント利用は緊急時と捉え、本体及び基礎はテントが張られていない状態での構造検討としています。
※強風時はテントの使用をおやめください。



テント設営時



※通風用を兼ねて対面にも同じ扉が付きます。（扉はファスナーで開閉）

設営が簡単に



桁下のアルミテントバー中央からテント膜を差し込むように入れて左右にスライドさせながら広げることで簡単に取付けることができます。また、四隅もナイロンベルトを使用することで簡単に柱への固定ができます。

設営時間の短縮



通常タイプの防災テントシェルターでは、2人での設営に約30～40分かかることが一般的ですが、本製品は約15～20分で設営でき、作業時間の短縮に寄与します。

軽量のターポリン生地を採用



本製品では簡易的な設営を目的としていることと、設営時に破損につながりやすい屋根膜がないことから軽量のターポリン生地を採用しています。

テントの収納について

収納ベンチ（BBF-1200）1基につき、シェルター1棟分のテントを収納することができます。（▶p.42、156）



BBF-1200

Vプロセス工法のアルミ屋根



薄肉鋳物ができて寸法精度が高い「Vプロセス鋳造」によるアルミパネル屋根を使用しています。（▶p.63）

溶融亜鉛メッキ下地の鋼材



休養施設の鋼材に溶融亜鉛メッキを施して耐久性を格段に高め、製品の長寿命化につなげています。（▶p.63）